



2022. 7. 29

「しずぎん9号投資ファンド」を設立

静岡銀行（頭取 柴田 久）では、株式上場を志向するベンチャー・スタートアップ企業など、地域経済の将来を担う企業の支援を目的に、グループ会社の静岡キャピタル㈱（社長 久野託司）と共同で投資ファンドを設立し、出資を行うことにしましたので、その概要をご案内します。

1. 設立趣旨

- 静岡銀行グループでは、第14次中期経営計画で掲げる10年ビジョン「地域の未来にコミットし、地域の成長をプロデュースする企業グループ」の実現をめざして、「地域プロデュース戦略」に取り組んでいます。これは、地域のさまざまな課題に対し、グループの連携強化や異業種企業との連携を通じて、新たな地域産業の創出や地域の魅力向上を図り、地域の産業や経済の育成、成長を支援するものです。
- 本ファンドは、地域経済の成長・発展に資する事業を創造しているベンチャー・スタートアップ企業、「IoT」「AI」「ロボット」「航空宇宙」といった成長分野に取り組む企業など、地域経済の将来を担う企業の成長ステージに応じたきめ細かな支援を実践するファンドです。
- 本ファンドの業務執行者である静岡キャピタルは、静岡銀行グループの投資専門会社として、地域における技術革新や産業構造の変化を支援することで、地域経済の持続的な成長をめざした活動に取り組んでいます。

〈これまでの投資ファンド〉

	1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号
設立時期	1996年2月	2001年8月	2005年6月	2007年1月	2011年11月	2015年3月	2017年12月	2020年4月
総資金量	5億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円	10億円	15億円
投資社数	16社	27社	31社	20社	24社	21社	24社	23社

2. ファンドの概要

設立日	7月29日（金）
ファンド名（登記名）	静岡キャピタル9号投資事業有限責任組合
ファンド総額	30億円（8号ファンドより15億円増額）
投資対象先	静岡県・愛知県・神奈川県・東京都・大阪府に本社・事業所を有するベンチャー・スタートアップ企業
投資対象債権	普通株式・種類株式・新株予約権・新株予約権付社債など
出資者および出資割合	静岡銀行80%（24億円）、静岡キャピタル20%（6億円）
ファンド期間	10年間
1社あたりの投資額	500百万円（ファンド総額×16.7%）以内